

## 【平成30年度事業計画】

### 1. 経営基盤の確立

日銀はインフレ率2%目標のため短期金利をマイナス0.1%、長期金利を0%程度に操作しており、金融機関は収益の低下により事務効率化、人員再配置による人件費削減などで経営改善に取り組んでおります。

また、マネタリーベースを終息する時には混乱により金融危機が発生する可能性もありますが、当信用組合は運用内容を精査し、安定した経営を行っております。

組合員数は逡減傾向が続いておりますが、ニーズに合った新商品の提供、金利引下げや条件緩和などにより魅力ある商品へ変更した結果、貸出金残高は増加しました。

### 2. 「毎プラン定期積金」の優遇継続

結婚資金、住宅頭金資金、教育資金、セカンドライフなど幅広くライフプランに活用いただける、優遇金利を付加した「毎プラン定期積金」、その満期金を定期預金にお預けいただいた場合の優遇金利に加え、60歳以上の方に限定した特典を今年度も継続しております。

### 3. 各種ローンの更なる充実

2017年1月から住宅ローンの金利大幅引下げと借入条件の緩和により、残高が大幅に増加し、今年度も増加傾向にあります。

マイカーローンも借入限度額増額、借入条件緩和により残高が増加しました。スピードローン利用促進のため、新規契約者と利用残高のない方に対し、1年間金利1%キャンペーンを継続しております。

これらの実施により貸出金残高の増加を図り、預貸率の向上を目指します。

### 4. ディスクロージャーを推進します

職域信用組合は組合員との深い信頼関係が基本です。このため透明性の高い健全経営を推進します。

毎日信用組合ホームページ(<http://www.mainichi-shinkumi.com>)、店内掲示、DMなどを通じ、経営情報をお知らせします。

### 5. 法令等遵守態勢の整備と人材育成推進

金融機関としての信頼を高めるためには、法令等を遵守することが経営の基本です。コンプライアンス・プログラムの年間計画を策定し、進捗状況・実施結果を逐次検証することで業務の健全性確保と職員の通信教育受講、業務検定受験等により人材の育成を図ります。